

先輩から後輩へ合格の秘訣を紹介

岡山医療専門職大学へ入学を決めた先輩たちの受験対策の方法を紹介します。

総合型選抜合格体験談



理学療法学科 2年

長井 隆太 さん
出身高校：慶進高校（山口県）

MESSAGE

総合型選抜はしっかり事前準備することが合格の鍵だと思います。レポートを何度も読み返して修正したり、面接の練習を何度もしたりと日頃の準備が試験当日に大きな効果を発揮すると思います。それでも緊張すると思いますが、自分を信じて頑張ってください！

Q レポート対策は？参考にした資料は？

A 実はほとんどレポートを書いたことがなかったので、どのように作成すればいいか調べる所から対策を始めました。そのため理学療法士の養成校に進学した高校の先輩に連絡し、レポートの書き方や課題について意見やアドバイスをもらいました。実際に理学療法士の勉強をしているため、リハビリや医療などレポートに直結する課題がリアルにイメージでき、レポート作成に多いに役立ちました。先輩から聞いたことをインターネットや図書館の本を使いながら調べて、まとめました。

Q 「発表とディスカッション」ではどんなことに注意していた？

A 試験会場にメモを持ち込めますが、それを見ながら発表すると言いつつ間違えた時に逆に緊張すると思い、メモは試験が始まるまでに確認し、試験中は一切見ませんでした。そのおかげかあまり緊張しないで詰まることもなく、周りの人の目を見ながら自分の言葉で話せたと思っています。また集中して周りの発表を聞いたことも良かったです。

Q 面接ではどんなことを聞かれた？

A 始めに志望動機やどのような理学療法士になりたいかなどを聞かれました。あとは高校での部活動について、意外でしたが家族や友達との楽しいエピソードも聞かれました。

Q エントリーシートの書き方から実践した受験対策や面接対策は？

A 面接は自分をアピールする一番の場だと考えていたので、面接対策はしっかり行いました。高校の先生に試験官役をやってもらい、想定される質問を考えて、繰り返し行いました。言葉に詰まってもちゃんと話せるよう、台本などはつくりかたを聞かれたことにその場で答えられるようになるまで何度も練習しました。また「発表とディスカッション」と同じように相手の目を見ながら話すこと、聞き取りやすい大きさの声で話すことも心がけました。

Q 試験当日の雰囲気、感想は？

A 受験生はみんな緊張していたので、試験会場はとても緊張感がありました。試験はしっかり準備し対策していたので自信をもって臨めたため、嫌な緊張感はありませんでした。「発表とディスカッション」は思っていたよりも話しやすい雰囲気だったので、ディスカッションに参加しやすかったです。面接も試験官の先生方が話しやすいように質問してくれたので、緊張せず自分の思いを伝えられたと感じています。

先輩から後輩へ合格の秘訣を紹介

岡山医療専門職大学へ入学を決めた先輩たちの受験対策の方法を紹介します。

総合型選抜合格体験談



作業療法学科2年

近久 実夢 さん

出身高校：就実高校

MESSAGE

総合型選抜は試験内容だけみると難しく感じるかも知れませんがしっかり対策をしていれば比較的受けやすい入試だと思います。自分の意見や考えをしっかりまとめておけばどんな質問がきても答えられると思いますのでレポートやエントリーシートを書く時はそこを中心に作成するといいいでしょう。焦らずゆっくりでいいので、事前準備を整えて試験に臨んでみてください。

Q レポート対策は？参考にした資料は？

A レポートに取りかかる前に、主にインターネットを使って、課題について一通り調べました。私が受験したときの課題は「チーム医療について」でしたので、病院のホームページでチーム医療の重要性について調べたり、医療従事者のいところにチーム医療の実際や医療現場について聞いたりして参考にしました。インターネットの情報だけでは信頼性が低いため実際に働いている人の話や医療系の本から得た情報をレポートにうまく活用することが必要だと思います。

Q 「発表とディスカッション」ではどんなことに注意していた？

A 「発表とディスカッション」は複数の受験者で行うので、全員が聞き取りやすいよう声が通るようにハキハキと話すことを意識しました。家でも発表の練習を繰り返し行い、聞き取りやすく話せているかどうかを親に確認してもらっていました。発表の際のメモは内容をたくさん書き過ぎず要点だけに絞って書くことにも注意しました。そのおかげで言葉が詰まることなく発表できました。

Q 面接ではどんなことを聞かれた？

A 志望動機についてやそれに基づいた質問がありました。また文化祭や体育祭でどのような役割をしたかなど、高校生活についても質問がありました。

Q エントリーシートの書き方から実践した受験対策や面接対策は？

A 総合型選抜は相手との対話がメインの入試なので、とにかく相手ときちんと会話できるようにすることを心がけました。面接対策は何度も練習すること。学校では高校の先生と毎日放課後にみっちり練習をしました。また家でも親に協力してもらいながら面接の練習をしました。レポートは高校の先生に添削してもらって何度も修正しました。レポート用紙はあらかじめコピーして、何度も書けるようにしていました。

Q 試験当日の雰囲気、感想は？

A 試験が始まるまではすごく緊張しましたが、いざ「発表とディスカッション」を迎えたら次第に緊張が和らぎ、比較的リラックスして臨むことができました。緊張しなかったので、発表も面接も本来の力が発揮できたと思います。あまり難しいことを考えたり、いつもより自分を良く見せようとするよりも、ありのままの自分で話すことが大切だと思います。

先輩から後輩へ合格の秘訣を紹介

岡山医療専門職大学へ入学を決めた先輩たちの受験対策の方法を紹介します。

総合型選抜合格体験談



作業療法学科 1年

木村 尚弥 さん
出身高校：飯南高校（島根県）

MESSAGE

進路や夢が決まっている人は実現に向けて頑張ってください。まだ決まっていない人は焦らず、じっくり考えることが大切です。今はコロナ禍で活動が制限されていますが、いろんな経験が出来る時は積極的に物事に関わって、可能性を広げていってください。

Q レポート対策は？参考にした資料は？

A 私が受験した年のレポート課題は「地域におけるリハビリテーション」だったので、『自分の地元ではどのような状況なんだろう』という疑問を持ちました。まず地元の病院で取り組んでいること（地域包括ケアシステムなど）を調べたり、病院で働いている作業療法士の方に話を聞いたりしてレポートの資料としました。実際に書く時は「自分が作業療法士なら何ができるか」という問いを中心に進めていき、調べたことや資料は自分の意見や考えを補強するために引用しました。レポート課題は難しく感じますが、まずは身近なことから絡めて考えていくと書きやすいと思います。

Q 「発表とディスカッション」ではどんなことに注意していた？

A 発表では自分が伝えたいことを分かりやすく話せるように、レポートの要点を箇条書きでまとめておきました。試験当日はレポートを要約したメモを持ち込めるため、それを参考にしながら発表できたので緊張して言葉が出ないということはありませんでした。また他の受験生の発表はメモを取りながら、しっかり聞き取ることを意識しました。ディスカッションの経験はあまりなかったので正直うまくできるか不安でしたが、みんなの発表を丁寧に聞いていたおかげで自分の意見をしっかり話すことができたと思います。

Q 面接ではどんなことを聞かれた？

A まずは志望理由を聞かれました。その他、将来作業療法士としてどのように働きたいか、高校で頑張ったことなども聞かれました。

Q エントリーシートの書き方から実践した受験対策や面接対策は？

A レポートやエントリーシートはとにかく何回も書き直しました。自分で何度も読み返すだけでなく高校の先生にも見てもらい、文章の筋道が通っているか、分かりやすい内容になっているかをチェックしてもらい、その都度書き直していました。何回も書き直したことで、自分の意見や主張を整理でき、結果的にレポートだけでなく面接やディスカッションの対策にもなりました。面接の練習は担任の先生と繰り返し行いました。特に話すときの姿勢や声の大きさ、聞き取りやすさなどに注意し練習しました。自分の言葉で話したいと考えていたのでシナリオは作りませんでした。結果的に自分の思いがきちんと伝わったと思います。

Q 試験当日の雰囲気、感想は？

A 入試が始まるまでは緊張で体がガチガチでしたが、周りの受験生もみんなガチガチで少しだけ気持ちが和らぎました。「発表とディスカッション」では、他の受験生の発表を聞くことができ、考えることで冷静になれたので自分の発表ではしっかりと意見が言えたと思っています。面接では試験官の先生方が緊張をほぐすように雰囲気をつくってくださったので、自分の言いたいこと、伝えたいことが話せたと感じています。